

初演から 96 年を超え、全国で 9 万人が感動した神田香織の代表作！” はだしのゲン”

サンアゼリア寄席

# 神田 香織 講談で平和祈念



## 九歳の少年ゲンがみた広島

戦争と原爆の真実を演じる感動の舞台！

### あらすじ ~ The story ~

主人公中岡ゲンは小学校二年のわんぱくざかりです。下駄の塗装を生業にしながら戦争に反対しつづける父とやさしい身重の母と姉と弟に囲まれ貧しいながらもいたわりあって暮らしていました。

しかし、8月6日、広島に原爆が投下され一家の生活は文字どおりメチャクチャに破壊されてしまうのです。

偶然にもゲンは寄りかかっていた塀が熱線を防いだ為奇跡的に助かりました。しかし、階下にいた父、大吉と姉、英子と弟、進次は家の下敷きになってしまったのです。

君江とゲンは必死になって家族を助けだそうとするのですが二人の力ではどうにもなりません。やがて炎がゲンの家にも迫ってまいります。「このままではゲンと君江にも燃え移ってしまう」父大吉は挟まれた材木の隙間から必死になって二人に「逃げろ！」と叫ぶのです。

断腸の思いでその場を立ち去るゲンと君江、やっと逃げ出したものの君江はショックの為急に産気づきやがて女の子を産み落とし、ゲンがその子を取り上げます。

生まれたばかりの赤ん坊を抱きしめ、そして高々と空に向かってゲンは「二度と、こんなことはさせません。わしの力で戦争なんかない、ええ世の中を作っちゃる。わしがお前を守ってやる、守っちゃるでー」と炎と煙がたちこめる空に向かって力強く誓うのでございました。 【原作】中沢啓治

## 神田 香織

福島県立磐城女子高校卒業後、東京演劇アンサンブル、渡辺スロダクションドラマ部を経て1980年神田山陽門下生となる。二ツ目以降ジャズ講談や一人芝居の要素を取り入れた神田香織独自の講談を次々発表、講談の新境地を切り開いている。

1986年「講談はだしのゲン」公演で日本雑学大賞受賞。

公式サイト <http://www.ppn.co.jp/kannda/>

# 10月7日 金

開演 14:00 開場 13:30

和光市民文化センター  
サンアゼリア 小ホール

全席自由 一般 2,000円(税込)

和光市民 1,500円(税込) 学 生 800円(税込)

【サンアゼリア友の会会員 1,500円(税込)】

【チケット取り扱い】

- ◆ 和光市民文化センターサンアゼリア 048-468-7771
- ◆ イトーヨーカドー和光店2F サンアゼリアチケットコーナー
- ◆ サンアゼリアインターネットチケット販売



### お問い合わせ

和光市民文化センター  
048-468-7771

アクセス 〒351-0192  
和光市広沢 1-5

- 和光市駅南口から870m(徒歩約13分)
- 和光市駅南口からバスをご利用の場合  
東武バス(西大和団地経由)「和光市役所入口」(3つ目)停留所から約200m



主催：公益財団法人和光市文化振興公社